学校番号	1009

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「精選　国語総合」（大修館書店）						
副教材等	「ダブルクリア」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけることを心がけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。
・漢字の読み書きを学び、日本漢字能力検定の各級取得を目指す力の向上を目標とします。授業内で漢字の小テストを行います。

２　学習の到達目標

・作品の内容を的確に理解し、適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
・思考力を伸ばし、豊かな感性を培い、言語感覚を磨く。
・目的や相手に応じて適切に文章を書く力を養う。
・言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、相手の話すことを的確に聞き取り、また話し合うことで、自分の考えをまとめ、深めている。	小論文・要約・手紙等、相手や目的、意図に応じて的確に文章を構成・表現することができる。	文章を的確に読み取り、多様な作品を幅広く読み、自分の考えを深めることができる。 作品を通じて、思考力を伸ばし、豊かな感性を養うことができる。	伝統的な言語文化や言葉の特徴・きまりを理解できる。 漢字についての知識を習得することができる。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（プリント・ノート等）	・行動の観察（発表等） ・記述の点検（班活動での課題・プリント・ノート等）	・記述の点検及び分析（プリント・原稿用紙）	・行動の観察 ・記述の点検（プリント・定期考査）	・行動の観察 ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。	

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	心を見つめるⅠ	随想「挑戦」	○			○	○	ａ筆者の意見を適切に読み取り、自分の考えを深めようとしている。 ｄ筆者の意見を適切に読み取り、自分の考えを深めることができる。 ｅ漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解することができる。	ad行動の観察 記述(ノート･プリント)の点検 e定期考査、小テスト
		小説「羅生門」	○			○	○	ａ人物・情景・心情を読み取り、作品に及ぼす効果に気付こうとしている。 ｄ作品の背景や時代性を理解し、作品の主題を思考することができる。 ｅ言葉の意味や表現法を理解することができる。	
	古文に親しむ	古文入門「ねずみの婿とり(『沙石集』)」	○			○	○	ａ伝統的な言語文化に親しみ、作品の内容を理解しようとしている。 ｄ伝統的な言語文化に親しみ、作品の内容を理解することができる。 ｅ古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	
2	視野を広げる	評論「水の東西」	○	○		○	○	ａ筆者特有の表現を読み取り、評論における表現（対比・具体と抽象等）を理解し、自分の考えを深めようとしている。 ｂ言語活動を行い、自分の意見を適切に相手に伝え、相手の意見を尊重し聞くことができる。 ｄ筆者特有の表現を読み取り、評論における表現（対比・具体と抽象等）を理解し、自分の考えを深めることができる。 ｅ漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解している。	a行動の観察 bd記述(ノート･プリント)の点検 e 定期考査、小テスト

	古典と近代の比較	古文入門「羅城門(『今昔物語集』)」	○			○	○	a 小説「羅生門」と比較し、文章表現の違いや時代の違いを読み深め、作品をより深く理解しようとしている。 d 小説「羅生門」と比較し、文章表現の違いや時代の違いを読み深め、作品をより深く理解することができる。 e 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	
3	イメージを味わう	評論「まずは形から」	○	○		○	○	a 熟語や慣用句など言葉の意味を理解し、作品の論題・論拠を的確に読み取ろうとしている。 b 自分の意見を適切な言葉で他者に伝えるとともに、他者の意見を尊重し、聞くことができる。 d 熟語や慣用句など言葉の意味を理解し、作品の論題・論拠を的確に読み取ることができる。 e 漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解している。	a 行動の観察 b グループワーク・ペアワーク・発表時の行動の観察 d記述(ノート・プリント等)の点検 e定期考査、小テスト
		詩「甃のうへ」 「一つのメルヘン」 「自分の感受性くらい」	○			○	○	a 詩の表現技法を理解し、豊かな感性を培い、文章から情景等をイメージしようとしている。 d 詩の表現技法を理解し、豊かな感性を培い、文章から情景等をイメージすることができる。 e 漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解している。	
	物語のはじまりⅠ	古文の物語「竹取物語」	○			○	○	a　現代と異なる古典の恋愛・結婚観等の時代性を理解し、物語の内容を読み深めようとしている。 d 現代と異なる古典の恋愛・結婚観等の時代性を理解し、物語の内容を読み深めることができる。 e 伝統的な言語文化に親しみ、基本的な文法、言葉の意味を理解することができる。	

4	心を見つめるⅡ	小説「鏡」	○		○	○	○	a 文体（語り手・人称・文末表現等）を捉え、作品の内容を理解しようとしている。 c 文章の表現技法や文体に注意し、作品の要約や感想を書くことができる。 d 登場人物の状況や心情を読み取り、作品の主題に迫ることができる。 e 漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解している。	a行動の観察 cd 記述（ノート・プリント等）の点検 e 定期考査、小テスト
	物語のはじまりⅡ	古文の物語「伊勢物語」	○			○	○	a 和歌の修辞技法を理解し、物語中の和歌の効果を読み取ろうとしている。 d 和歌の修辞技法を理解し、物語中の和歌の効果を読み取ることができる。 e 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	
5	自然を捉える	評論「動的平衡としての生物多様性」	○		○	○	○	a 筆者特有の表現を読み取り、筆者の主張を支えている表現（類推・帰納・演繹等）を理解し、自分の考えを深めようとしている。 c 課題や目的に応じた文章を書くことができる。 d 筆者特有の表現を読み取り、筆者の主張を支えている表現（類推・帰納・演繹等）を理解し、自分の考えを深めることができる。 e 漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解している。	a行動の観察 cd 記述（ノート・プリント等）の点検 e 定期考査、小テスト
	漢文に親しむ	漢文入門　故事成語	○			○	○	a 伝統的な言語文化に親しみ、わが国の言語文化を培ってきた言葉の由来や背景を理解し、豊かな考えやものの見方を養おうとしている。 d 伝統的な言語文化に親しみ、わが国の言語文化を培ってきた言葉の由来や背景を理解し、豊かな考えやものの見方を養うことができる。 e 漢文の基本構造・用法を理解することができる。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。